

ビジネスアイディアの概要

年間約110億円相当の、ヨウ素が回収されずに、捨てられている資源損失の、課題がある。

この課題を解決するために、工場の未利用廃熱（40℃）で駆動する、「温度応答性ポリマー」を用いた、廃液資源回収技術の、事業化を目指す。

捨てられている資源を「収益」へと転換、同時に分離プロセスの、脱炭素化を実現する。

ビジネスアイディアを事業化するための課題

■ 事業化に向けた3つの主要課題（マイルストーン）

1. 実廃水環境における技術的有効性の実証 【TRL3→TRL4：ラボから実廃水へ】
2. ファーストカスタマー獲得に向けた市場対話とニーズ深掘り
【白子町を起点とする戦略的マーケット・リサーチ】
3. 資源回収モジュール「プロトタイプ」の開発 【既存プラントへの後付け設計思想の具現化】

事業化の見通し

■ 事業化の進捗と今後の展開

1. 技術的マイルストーン：原理確認（TRL3）の完了
2. 市場性の確認：年間110億円の未利用資源市場
3. プロダクト開発：Retrofitモジュールの概念設計完了
4. 今後の展望：実廃水環境での検証とプロトタイプ開発

事業者情報

代表 / 事業化担当 加藤 淳一
技術顧問（CTO候補） 西村 慎之介



ビジネスアイディア概要図等

ビジネスアイディア概要図

